

備前市事務事業評価シート

(平成21年度事業)

事業の概要			
事業開始年度		昭和6年度～	
総合計画	大項目	基本目標	01 安全で快適に暮らせるまちづくり
	中項目	基本施策	01 生活しやすいまちづくり
	小項目	施策	11 市道の整備促進、歩道の整備促進
事務事業名		07 市道等管理事業	
		根拠法令・例規等	
		担当課(室)	都市整備課
		職・氏名	管理係長・岸本豊弘
		電話	0869-64-1833
		このシート作成に要した時間	7.0 時間

事業の目的	
対象(誰・何に対して)	市道等利用者及び地域住民
目的(何のために)	市道等を整備し地域住民をはじめ市道等利用者の安全を図る。また、地域活性化を図ることを目的とする。
事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか)	市道を管理し有効に利用する。

事業の実績				
目的を達成するために実施した事業	細事業名	事業の説明	優先度	
	市道等管理事業	市道等の管理を行う		
	道路占用許可事務	道路占用の許可を行う		
	農道水路占用許可事務	道水路占用の許可を行う		
	官民境界事務	市道などと民有地の境界の確認を行う		
	道路官民境界事務	"		
	土地境界事務	"		
	道路用途廃止事務	道路としての用途を廃止する		
	法定外公共財産の用途廃止事務	道水路としての用途を廃止する		
	市道認定・市道編入事務	道路を市道への認定・編入を行う		
	特殊車両通行許可事務	特殊車両の通行を許可を行う		
	道路台帳補正事務	道路改良など変更箇所の補正を行う		

事業の目的、対象内容を考えてながら妥当性の評価を行って下さい

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい

事業費等		単位	平成19年度実績	平成20年度実績	平成21年度実績	
決算額	直接事業費		14,589	10,567	13,340	
	必要人員(人件費)	千円	2.29人	16,928	1.80人	12,507
	事業費		31,517	23,074	30,145	
	国県支出金					
	受益者負担		10646	11605	8125	
財源	千円					
繰入金						
その他()						
一般財源		20,871	11,469	22,020		
受益者負担比率	%					
結果指標名		単位	平成19年度実績	平成20年度実績	平成21年度実績	
結果指標	市道占用許可件数	説明	市道及び普通河川の占用許可を行った件数			
	結果指標量	事業	107	130	142	
	対前年比	%	-	121.5%	109.2%	
	活動コスト	円				
単位当たりコスト			0	0	0	

事業の成果					
成果指標名	年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度目標値
苦情発生件数	目標値(A)	0	0	0	0
	実績値(B)	0	0	0	到達目標値
	達成率(B/A)	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	0
成果指標設定の考え方・式や説明					
許可等に対する苦情件数					

事務事業の評価		妥当性評価	効率性評価	有効性評価		
妥当性の評価	市の関与の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 市が実施するよう法令で義務づけられている <input type="checkbox"/> 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない <input type="checkbox"/> 事業の内容が一部の受益者に偏っている <input type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input checked="" type="checkbox"/> 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある <input type="checkbox"/> 市民・団体等から要望・要請が強い	妥当性評価 <A-E> B	コスト	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> 実施方法(派遣・委託含)を見直すことでコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担率は適正である <input type="checkbox"/> 受益者負担率を見直す余地がある <input type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている	効率性評価 <A-E> C
	市民ニーズ	<input type="checkbox"/> 成果指標の設定は適切である <input type="checkbox"/> 成果指標の到達目標値は達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は前年度と比較して向上している <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は80%未満となっている <input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない <input type="checkbox"/> 法定事務・内部管理事務 であり成果は求めにくい <input type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している	有効性評価 <A-E> B			

留意事項の目的やその数値目標を達成するための結果指標

進行年度(H22年度)の改革改善内容						
状況	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止・完了
説明	占用料徴収条例の改正により、占用料収入はH21年度から減収となっている。道路台帳については、引き続き電算化を進める。					

総合評価		評価区分
占用等の業務については、苦情も無く処理できている。これからも申請者は手続き、施工についての指導を徹底し、許可によって市民生活に支障をきたすことのないよう、引き続き行う。市道台帳については、新設・改良・改修工事を行った路線につき整備を行っていく。また、市道の整備補修についてもマトロールを強化し市民の安全を図る。		C

平成23年度の方針及び取組目標						
方向性	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止・完了
取組目標	市道台帳の電算化を推進することにより、より迅速な業務の遂行に役立てたい。					